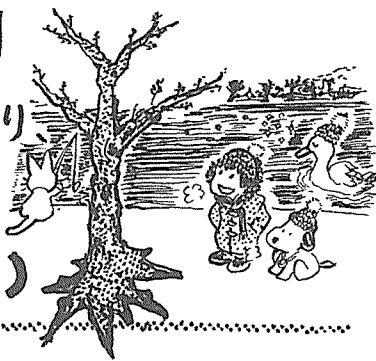


【みことばが豊かに実を結ぶ良い土とは、】
 立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、
 忍耐して実を結ぶ人たちである。

—— イエスさまのことば（ルカ 8章15節）



2014. 2
 (通巻第75号)
 発行犬: スヌ校長



イエスさまも教えておられます、
 わたしたちが実を結ぶまでには
 忍耐が必要だということを。
 耐える力は、信仰です。
 美しく咲き、実るまで、すべてご計画
 神さまに対する信頼です。

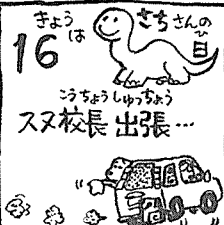
冷たい北風に吹かれながら、
 暖かい春の日を待ちあびて、
 桜の木を見上げると、花芽があります。
 桜はなんと前の年、まだ夏の
 花芽をつくって準備をし、
 じつと冬を待つのだそうです。
 そうして厳しい冬を耐え抜き、
 はじめて咲いて、春を喜び祝うのです。

23	22	16	9	5	2
日	土	日	日	水	日
年間第7主日	聖ペトロの使徒座	年間第6主日	年間第5主日	日本26聖人殉教者	主の奉獻
しゅじつ主日みどり緑	しゅくじつ祝日しろ白	しゅじつ主日みどり緑	しゅじつ主日みどり緑	しゅくじつ祝日あか赤	しゅくじつ祝日しろ白

今月のきょうかい

「主の奉獻」(2月2日)は、クリスマスから40日目。
 律法の規定にしたがい幼子イエスを両親が神殿で
 神にささげたことを記念(ルカ2章22~39節)。
 中世以来20世紀半までは「聖母の清めの祝日」と呼ばれていた。

「聖ペトロの使徒座」とは、聖ペトロ大聖堂内の司教座に象徴
 される教皇と、お支えする教皇庁のこと。古代ローマで2月22日は、セクナタ
 家族を記念する日。教会も家族として初代教皇を記念したのが始まります。



※ なごや ではありません。



冬休み明け(1/12)の
きまぐれかいがら(こ)の日は、
侍者大好きキャンペーン
2013年1月からクリスマスまで
の、表彰式でした。



今年もみんな
たくさん侍者
してね☆

※去年、侍者をしていたのに
この表彰式に来られなかったお友だちは、
こんど来たときスヌ校長に声をかけてね。

キャンペーン！とか

言うておきながら
スヌ校長は みんなが
何回侍者をしてくれたか
途中でわからなくなつて
しまふという大失態。

ただし、
こどもちゃんとけいや君は
回数が出出して多かった
ので、副賞員がすよつと
豪華になったらしい

スヌ校長が
侍者の回数が
わからなく
なったのはね、
フオロー！

いつも
ワワンって
言ってるから
だよ



今年からは『キャンペーン』という
呼び名にはしないけど、
きまぐれかいがら(こ)の
では、これまでと
同じように、
侍者の子たちを応援するよ！

もちろん、
初めての子も
大歓迎。
スヌ校長に
声をかけてね

これから、侍者を
した人は、
香部屋に備えつけの
このノートに
自分の名前を
書いてください。

当番制ではなく
子ども達がすすんで
喜んで侍者をして
くれることが、
スヌ校長はとっても
うれしいのです。



※『こもれび』の過去の号は、インターネットで見ることができます。
http://www.kotonanoki.com

侍者大好き キャンペーン

すてきな祭壇奉仕のために

ために

その12(最終回)

前のシリーズと合わせて2年ぶりに侍者の連載も、ひと区切りとします

ミサにもいくつかの形式があります。新にふれて補足します。ききたいことスヌ校長にきいてね

あれ？いつもとちがうぞ？

と気づく人は、侍者のつとめにとっても向いている人です。

なぜなら、ミサの流れがよく身についていていつもとちがう点に落ちついて対応できるからです。

話をわかりやすくするために、侍者が鈴を鳴らす場面について考えてみましょう。

鈴のことなら『こもれび』2012年10月号で習ったよ

実は、ミサで使われる『奉獻文』にはいくつ種類があるのです。わたしたちは、2012年10月号でみた「第二奉獻文」

まことにとうとくすべての聖性の源である父よ、

いま聖霊によってこの供えものをとうといものにください……という祈りのことばなら

よく知っているから、鈴を鳴らすタイミングもわかりやすいでしょう。でも、そのことばがもし違ったら？

たとえば、聖なるかな…の歌が

すんだ後、もし神父さまが

まことに聖なる父よ、造られたものはすべて、あなたをほめたたえています…と唱えたら、

あ、いつもと違うぞ

★まず気づき、★いつもと同じ心で★鈴を持って来え、★いつも以上に★注意して★神父さまの動きを見ていましょう。

『聖なるかな…』の歌のあと、神父さまの祈りのことばが、たとえば、たとえば、たとえば

まことに聖なる父よ、わたしたちはあなたをたたえます。あなたが偉大な愛によってすべての業を行われました

準備するのです。鈴を持って、そして、神父さまが…ご聖体を掲げたら、御血の杯を掲げたら、鳴らす要領は変わらない!!

日本26聖人殉教者の祝日です

NON CONFUNDAR IN AETERNUM: 主よ、われ御身に依り頼みたり、あが望みはとこしえに空しからまじ (TE DEUM より)

2月5日は『日本26聖人殉教者』の祝日です。今から約400年前、まだ誕生して間もない日本の教会が神さまにお献げした初めての殉教者でした。

26聖人は1597年2月5日、長崎・西坂の丘で殉教(うち日本人は20名)。1627年にタリ福、1862年に列聖。。

1587~1873

▶ **聖パウロ三木 33歳**
摂津生まれの、イエズス会修道士、強い説教家。



イエスさまと同じ33歳で死ぬると喜ぶ、迫害者である秀吉をはじめ全ての人もゆるし殉教。

▶ **聖ディエゴ喜斎 64歳、備前の人。**
大坂でイエズス会員とともに生活。黙想を愛し、教養豊かで、来客を親切にもてなした。殉教直前、ヨハネ五島とともに誓願を立て、イエズス会修道士に。

▶ **聖ヨアキム柿原 40歳、大坂の人。**
(ホアキン)
負い暮らしをしていて重病にかかった時に洗礼を受けた。病気が治ると、修道院の賄いとして働く。

▶ **聖トマス談義者 36歳、談義とは説教のこと。**
京都で薬売りをしながら、力強く宣教。

▶ **聖ボナベントウラ《年齢不明》京都の人。**
幼弟洗礼がお母で育つ。フランシスコ会に協力し宣教。

▶ **聖マチアス《マティアス》年齢不明、京都の人。**
洗礼を受けてまもなく、同じ名前の別人の代わりに逮捕。

▶ **聖フランシスコ医師 46歳(?) 京都の人。**
大友宗麟の元侍医。京都の病院で働いていて、逮捕。

▶ **聖パウロ鈴木 49歳《レオン・鳥丸の友達》**
尾張の人。京都では伝道士兼病院院長。通訳もできたらう。

26人のうち司祭は3名(いずれもフランシスコ会) 55歳(?)

▶ **聖ペトロ・バプチスタ《ペドロ・バウティスタ・ブラスケス》**



26人のリーダーとして皆に慕われ、皆をよくまとめた。1593年に豊臣秀吉に会い、日本での宣教の許可を取りつけた上で、京都、長崎、大坂に病院や修道院をつくっていた。スペインの出身。

▶ **聖マルチノ・デ・ラ・アセンシオン《マルティン》 30歳**

▶ **聖フランシスコ・ブランコ 28歳**

スペイン出身の若い神父さまで、ふたりとも半年前に日本に来たばかり。

外国からの修道士さん3名(フランシスコ会)

▶ **聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル 53歳** の父。謙遜な奉仕者として多くの人を感化した修道士。

▶ **聖ゴンサロ・ガルシア 40歳**
インド生まれの修道士。刑吏にも入信をすすめた。日本語がとて上手だった。

▶ **聖フィリッポ・デ・ハスス 24歳《フェリペ》**

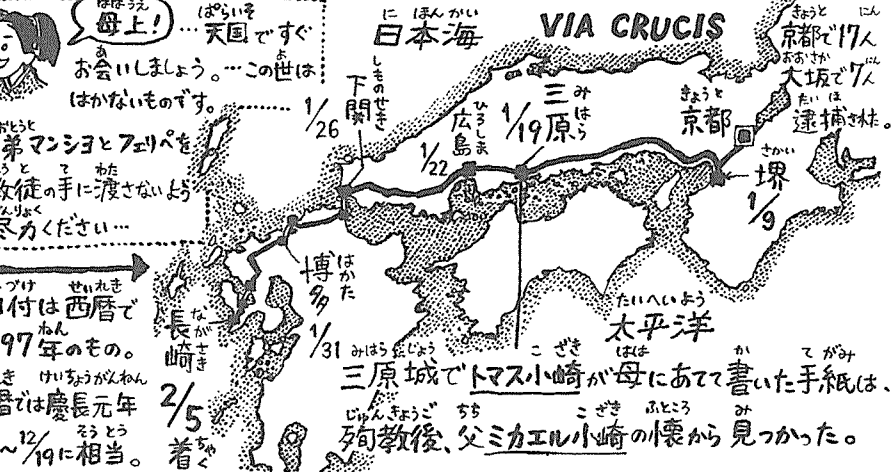
メキシコ生まれの若い修道士。フィリピンで学び、司祭余階のためメキシコに帰る途中、台風で船が難破し、日本へ。26人のうち最初に天に召された。

聖フランシスコザビエルが日本に伝えた福音が広まると、あずか40年ほどでキリスト教は禁止されました。それからなんと280年以上の迫害で、記録が残っているだけでも五千人以上の殉教者たちが、命にまえる教えを証しし、信仰を受け継ぎました。あたしたちの教会は、その豊かな実りなのです。

長崎・西坂の丘のふもとでは4000人もの信者が殉教を見届けた。十字架の上で面側から槍で貫かれるまで、殉教者たちは祈りと賛美をやめなかった。



寒さが一番厳しいこの季節に、殉教者たちは約1000kmの道を、1か月間、1日も休まず長崎まで歩き、十字架につけられた。



母上!...天国です。お会いしましょう。...この世ははかないものです。...第マンシヨとフェリペを異教徒の手に渡さないようご尽力ください...

日付は西暦で1597年のもの。和暦では慶長元年11/21~12/19に相当。

三原城でトマス・小崎が母にあてて書いた手紙は、殉教後、父ミカエル小崎の懐から見つかった。

にかういつが
2月5日は

IN TE, DOMINE, SPERAVI:

聖コスメ竹屋 38歳(?)

尾張の人。カズクリの職人さんで、大坂で宣教していました。

聖ヨハネ絹屋 28歳。

(絹屋ファンともう)

洗礼を受けたばかりの、絹織物の職人さん。

はじめは 26人でなく

24人だったんだ

途中で加わった2人

聖フランシスコ吉

(年齢・出身地不詳)

みんなのお世話をしようとして同行していた大工さん。いまの甲子園あたりの地域で逮捕されたらしい。

聖ペトロ助四郎 30歳

みんなのお世話をすために京都から同行していた。あき ひろしま たいほ 安芸(広島)で逮捕。

父子で 殉教

聖ミカエル小崎 46歳

(伊勢出身・ミゲル小崎)

父 子 弓矢をつくる職人でした

聖トマス小崎 14歳

将来、司祭になることを夢見ていました

聖アントニオ 13歳

(長崎出身、父はシナの人、母は日本人)

大坂で、フランシスコ会の修道院に入り、勉強していました。

父子・兄弟で 殉教

聖パウロ茨木 兄弟 聖レオン烏丸

54歳

48歳

共に病人や貧しい人々に奉仕、京都で宣教していました。

聖ルドビコ茨木 12歳

目の前で神父様やお父さんが逮捕されたとき、自分も一緒に逮捕するようお願いした。

聖ヨハネ五島 19歳

(五島出身、五島ジョアンとも。殉教直前、念願のイエズス会入り)

長崎や天草で学んだあと、大坂で神父さまのお手伝い。

聖ガブリエル 19歳

(伊勢出身)

京都奉行に仕える身でしたが、改宗し、神さまに仕える道に。

10代の殉教者 5名

★世界では今も宣教師が殺されたり、逮捕されたり、神さまを信じて迫害される人たちが多くいます。誰もが安心して祈れる日がくるように、共に祈りをささげましょう。

★時代や、状況によって方法は違っても、信仰を証しすることはとても大切です。

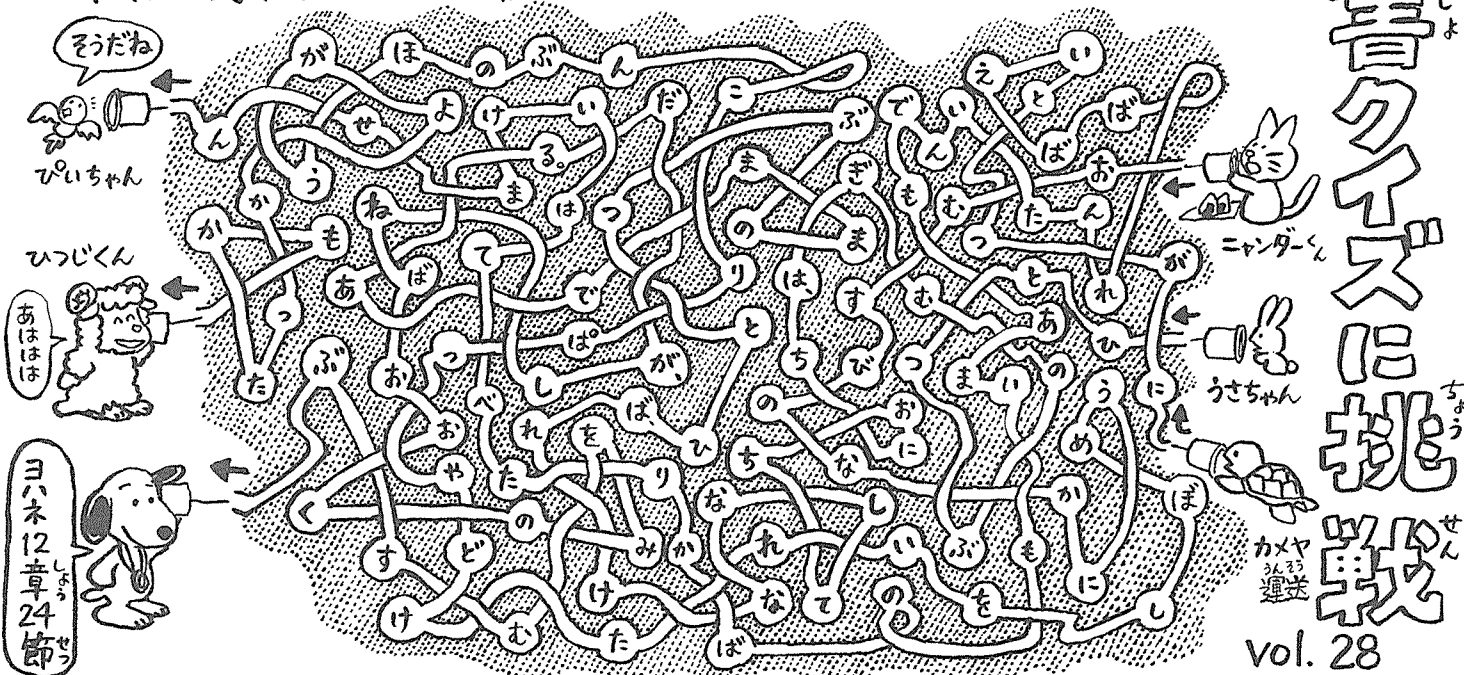
わたしたちは、いま、神さまにつながる喜びをどんなふうに表示しているでしょうか。



スヌ校長は、イエスさまのみことばを聞いています。

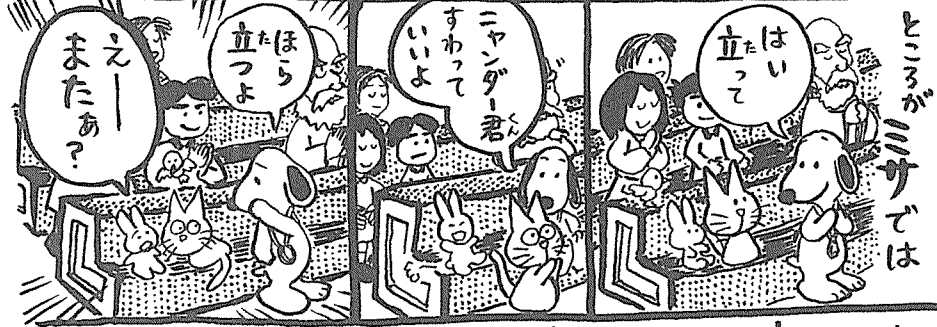
① それば、どんな みことばですか。② だれから聞いていますか。

※ ほかの子たちは、まったく関係ない おしゃべりをしています。



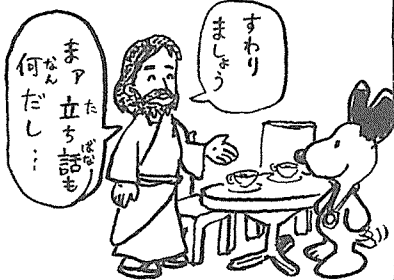
聖書クイズに挑戦

vol. 28



ミサで座るのは...

- ・静かに、心を落ち着けて待つとき。
- ・みことばを聴くとき。
- ・ひとりひとり深く祈るとき。



ミサで立つのは...

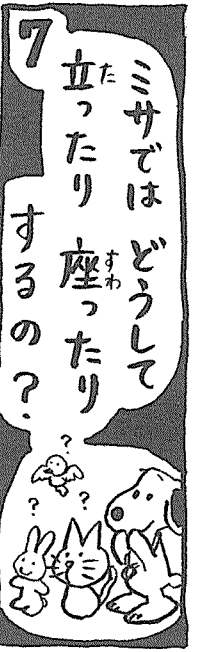
- ・みんなで起立するのはミサの基本姿勢で
- ・皆が一致して主を敬う心を表すとき。
- ・共同体として祈りをささげるとき。

- ① ミサの始め～集会祈願まで。
- ② アレリヤ唱(詠唱)で福音を迎え、福音書の朗読を聴くとき。

ミサでは、形を守りながら、そこに心を込めていくのが大切です。

なんとなく立つ/座るのではなく、姿勢の意味を意識するだけで、ミサの味わいが深まります。

ユダヤの人たちは、まっすぐ立つて神さまのみことばを聞いていたのじゃ。



- ③ ミサの始まる前。
- ④ 聖書朗読を聴くとき & 答唱詩編のとき。(※福音書を除く)
- ⑤ 説教を聞かるとき。
- ⑥ 司祭による奉納の準備の間。
- ⑦B 聖体拝領後の黙想。

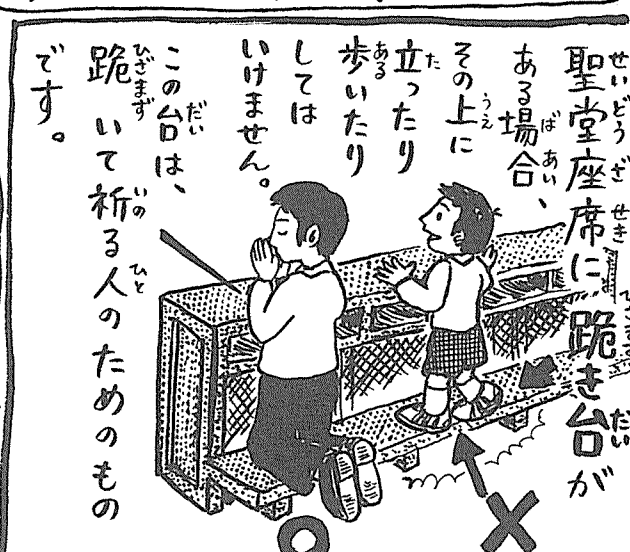
- ⑤ 信仰宣言、共同祈願そして奉納の行列のあいだ。
 - ⑦ 奉納祈願の前の招きのことば(『祈りましょう』)からミサの終わりまで。
- ただし、⑦B 聖体拝領後の黙想では座、てよい。

同じ「聖書のこことばを聴く」行為だけれど、福音書の朗読を聴くことは、キリストご自身を迎えることですから、起立して特別な尊敬を表します。



そうと分かればボクだってまっすぐ立ってそうだな。

足腰が不自由な人や体調が思わしくない時は、もちろん座ったままでもかまいません。



2月生まれ、 Happy Birthday おともだち

おめでとう

よしだ 吉田はるまくん (4日)
かつた おきてる 勝田明光くん (4日)
おかだ 岡田のぞみちゃん (12日)
くろだ 黒田あきまさん (16日)
たかた 高田けいやくん (19日)
ひがし 東野いのりちゃん (20日)

おわび... 1月号に載せなくては
いけなかつたのに
藤崎リリいちゃん
もう1歳なんだね。早いなあ
1月26日。お誕生日おめでとうございました

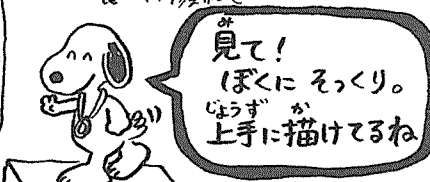
LETTERS
おたより
STAMPS
郵便切手の
ご寄付
SPECIAL THANKS
TO
ありがとう

種市早敏さま 小川拓郎神父さま
花巻吉彦さま 碓井明子さま
下永綾乃さま Sr. 鳥子さま
下永照さま 末吉克久神父さま
島田由紀さま 中田玲子さま
文田岳土さま 真希子さま 利子さま 岳彦さま
吉村章さま 由花さま 有蘭さま
神崎康さま 恵子さま みりさま みづるさま
薄田昇神父さま 松原雪枝さま
尾崎万紀さま おおきまりん
じく 石丸あき 宮崎由紀子さま
木村暢男さま 薫子さま

そのほか、かいぬしんの
おめでとうメッセージ
みなさん ありがとう!



おだ 織田りゅうじろうくん。
カトリックの幼稚園に
かよっています。
『こもれび』のたのしみにしてくれていて、
スラ模長の似顔絵をかいてくれたよ☆



見て!
ぼくにそっくり。
上手に描けてるね

『こもれび』のなかまたちのイラスト。みんなもぜひ描いてみて♡

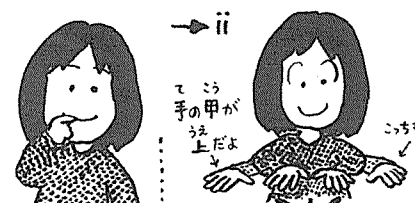
ぼくもわたしも 手話で ひとこと



にちよう 日曜には
きようかい 教会に
あつ 集まるよ

としてみよう!

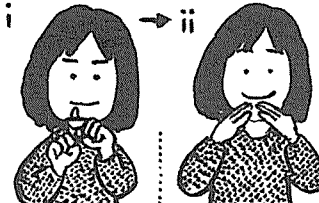
① 「日曜日」



みぎて 右手の人差し指で
くちびる 唇を指します。
→ 『赤』の意味。

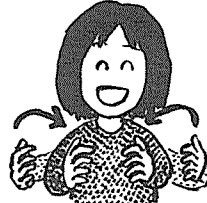
ひだりて 左手の人差し指で
ての甲が 手の甲が
うさばよ 上だよ
→ 『休み』の意味。

② 「教会」



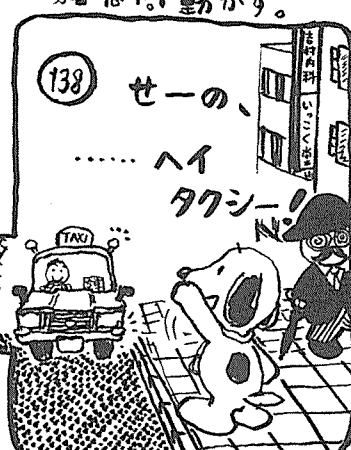
さゆう 左右の人差し指
で、十の字をつる。
→ 『十字架』の意味。

③ 「集まる」



ごほん 五本の指を
かたむ かるく曲げた形を
つくり、図のように
重かす。
→ 『家』の意味。

スラ模長式
健康法
ACT NOW!



昔書いたエッセイでね、
『その日の天使』というのがあるんですけどね。

締め切りがいっぱいになって、
ものすごいしんどくなってきた、

もうダメなんじゃないかと、思いつて
へたりかけた時にね、

表を焼き芋屋が通ったんですよ。

焼き芋、焼き芋、焼き芋、

それがおかしくてね、

人がこんなに苦労しているのに
何が焼き芋や、みたいなね。

笑っちゃって……

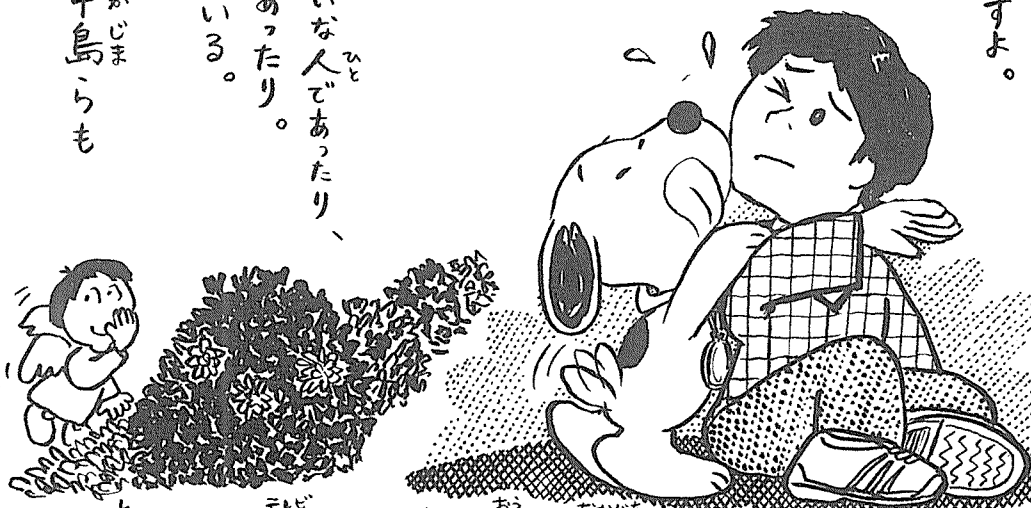
その一日一日にはね、
必ず一人天使がいる。

それは何か

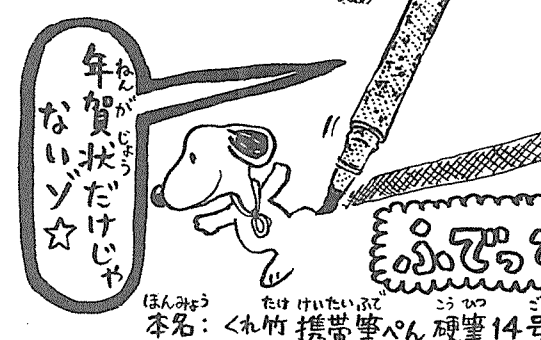
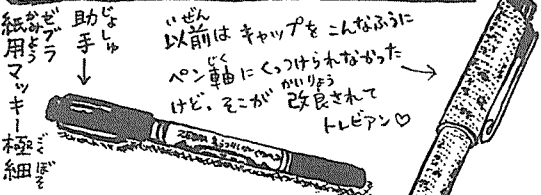
電車のホームにいた助役さんみたいな人であったり、
立ち食いそばのおばさんであったり。

その日の天使というのが一人いる。
……気づかないだけなのね。

中島らも



これは詩ではなく、TVのインタビューに応じた中島らもさん(1952~2004)のことば。コピーライターとして、小説家・エッセイスト・戯曲家として、またミュージシャンとして、あらゆる才能を発揮したらもさんは、躁鬱や睡眠障害に苦しみ、一時は視力をほとんど失っても、強烈なエネルギーで前進し続け、52歳で亡くなりました。家庭が問題をかえ、仕事も行き詰まっていたある日、笑いをくれた焼き芋屋さんに『その日の天使』をみたらもさん。『天使』は、生まれて直ぐに死んでしまった子犬でも、ふと開いた画集かなにかの一葉でも。『心・技・体ともに絶好調のときには、これらの天使は、人には見えないものようだ。』逆に、絶望的な気分に落ちているときには、この天使が一日に一人だけ、さしつかえされていいることに、よく気づく。』—らもさんの言葉です。



創刊以来、何十本にお世話になったという、このペンなしに『こもれび』は、考えられませんが、他のペンではわずかな一頁さえ仕上がりから不思議。『こもれび』に喜んで協力してくれるのは、このペンだけのようです。いっほんにぐんぐん、一本二百円程度ですが、扱っていない文具店もよくあり、スヌ校長はたくさん買いためています。

今月もありがとうございます



三寒四温...とは
いかなければ、五寒二温
といいたくなるね。
風邪ひかないで
あたためておくれね

